

集演講大覺自民國

特245

172

(輯八第)

184

最も平易に解説せる

日本精神の真髓

日本精神

貴族院議員 日本文化中央聯盟理事長 小山松吉

盟聯央中化文本日 財法人

(番七八一一座銀・話電)館新ルビ阪大・町幸内區町麹市京東



\*0001717000\*

0001717-000

特245-172

時局と国民自覚大講演集

小山松吉・述

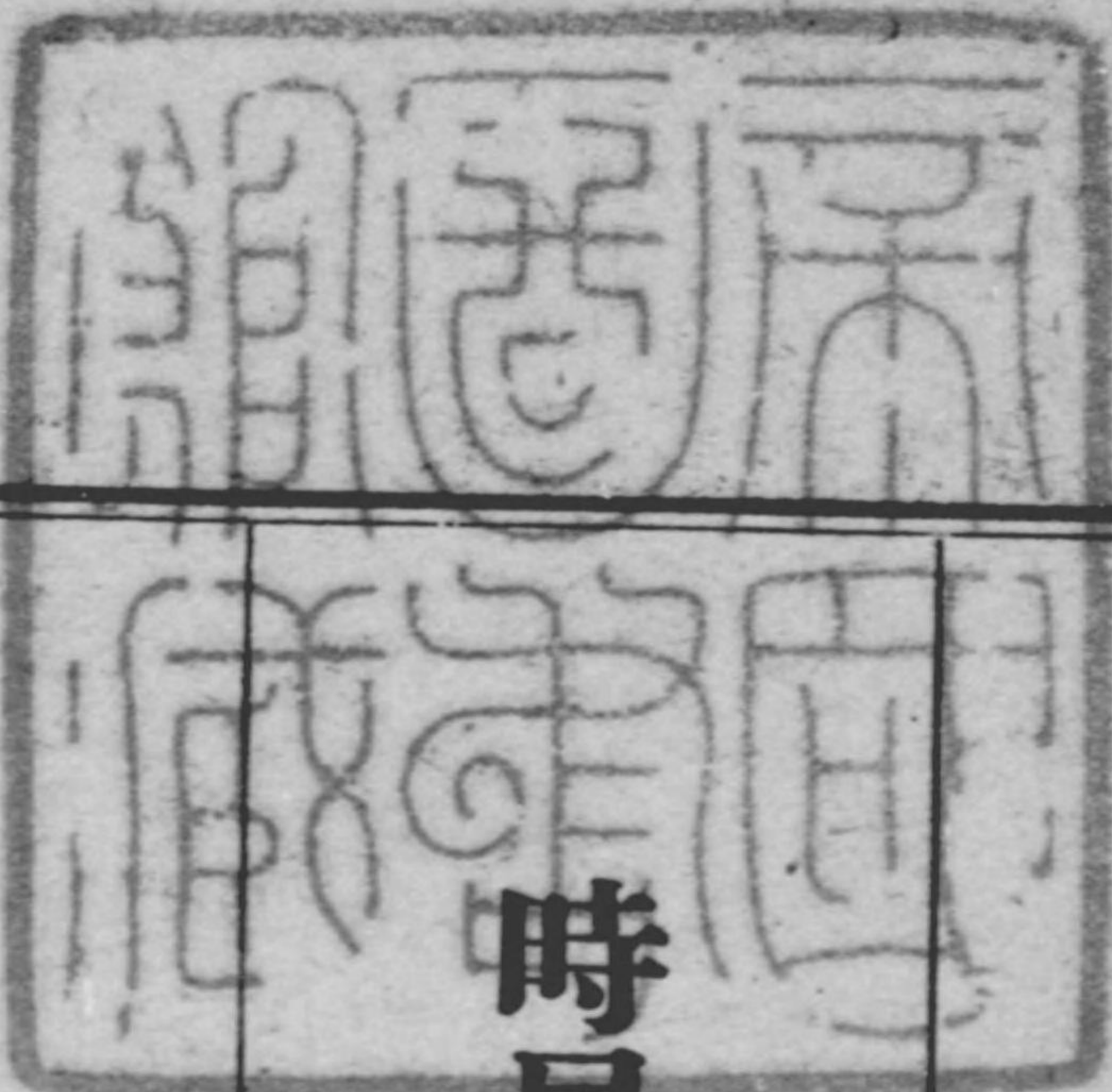
日本文化中央聯盟

第8輯

昭和13

AAC

特 245  
172



國民自覺運動パンフレット(第八輯)

時局と國民自覺大講演集



財團法人  
日本文化中央聯盟

目次

一、緒言……………一

二、伊勢神宮……………二

三、萬世一系の皇室……………四

四、三種の神器……………六

五、外國人に征服せられたる  
事なきこと……………一〇

六、外來思想の克服……………一五

七、日本精神の概念……………二六

八、結語……………三三

(附記)……………三六

本講演集は今春本聯盟が主催した第一回「時局と國民自覺」指導者講習會に於て小山理事長の爲したる講演を速記したものである。理事長は昭和七年齋藤内閣に司法大臣として入り同九



年退官、貴族院議員に勅選せられ、また同年法政大學總長に就任す。現に本聯盟理事長たる外各種の文化事業に活動す。「日本精神讀本」等の著述がある。(寫眞は小山理事長)

日本精神

財團法人日本文化中央聯盟  
理事 長

小山 松吉

一 緒言

「日本精神」といふ言葉の由來

私はこれより日本精神といふ題を掲げまして、日本精神の何物であるかといふ意義の大體を御説明申上げようと思ふのであります。

日本精神といふことは近時非常に高調せられまして、各方面で日本精神の本質又は日本精神の眞髓といふやうなことを説いて居りまするが、

その説くところは多岐に互つて居りまして、例へば漢學者は儒教を説いて、日本精神は儒教に依つて成立つて居るかの如く説明を致します。佛教の方では日本精神といふものは佛教に依つて出来上つたものであるといふ風に説くのであります。惟神かんながらの道即ち神道の方では、いやさうではない、日本精神即ち惟神の道である、といふ風に何れも多少争ふやうな意味があるのであります。

元來日本精神と申しますのは、外國の國民精神に對する言葉であります。して、日本人同士の間では「吾々の精神」と言へば宜いのであります。特に日本といふ字を付けて日本精神と言ふ必要はないのであります。然るに日本精神と言はなければならぬのは、これは外國の民族精神に對

した對立的な言葉であるからであります。恰も日本の上代の歴史を書いた古事記に對して、それと同様に日本の上代史を書いたものに日本書紀と名づけたと同じであります。これはその當時主として支那人又は朝鮮人に見せる必要がありましたので古事記とは異り漢文で書いて日本書紀と名付けたのであります。これと同じ趣意でありまして、外國に對立的の思想を以て申します時には日本精神と言ふ必要があるのであります。

#### 惟神かんながらの道みち

我國上代には、古き昔は惟神かんながらの道みちといふ言葉もなかつたのであります。惟神の道といふことが出て參つたのは、應神天皇の頃より儒教が入り、欽明天皇の頃より佛教が入りまして、その教旨がだん／＼各々弘ま

るに従ひ、どうもその教は我國固有の道と違つて居やしないかといふところに氣付いて、その當時の識者が、我國には儒教にあらざ佛教にもあらざる惟神の道といふものがあるのである、といふことで惟神の道といふ名前が出て來た譯でありまして、この惟神の道といふのも實は對外的の言葉であります。

#### 道眞「和魂漢才」を説く

斯様な譯でありまして茲に御話するところの日本精神といふ言葉は實は歴史の上では極く新しい言葉であります。昔は日本精神などといふ言葉を使用したことにはない。また日本といふことも餘り昔は言はなかつた。日本とか大和とか言つた。これは國語の關係から近頃は日本が正當

だといふ風に學者は説いて居るやうであります。その日本精神といふことを、昔はどういふ言葉を以て現はして居つたかといふと、平安朝時代に——當時は支那を崇拜して、遣唐使などを度々出して唐の文化を輸入したのでありますが、その時分に遣唐使を廢することを菅原道眞卿が朝廷に建議致しました。それは餘りに支那を崇拜するのは種々の弊害があるから宜しくないと言つて、「和魂漢才」といふことを説きました。即ちこの和魂といふのは日本精神であります。學問は漢の學問を取り入れても、日本精神を失つてはならぬといふ趣旨であります。

#### 「大和心」「大和魂」

徳川時代になつて漢學が盛んになり、又支那を崇拜する學者が多くあ

りました爲に、國學者賀茂眞淵或は本居宣長などが出まして、日本精神を喪失することを憂ひ、日本人には大和心オホムチココロがあるから之を忘れてはならぬといふことを頻りに主唱致しまして、大和心といふ言葉が各方面に用ひられたのであります。幕末に至りましては大和魂オホムチタマシといふ言葉が又流行したのであります。これは明治の末までも大和魂といふことは盛んに言はれて居りました。藤田東湖の如きは「天地正大の氣神州に鍾あつまる」といふことを言ひ、正氣歌せいぎのうたを作り正氣せいぎといふことを鼓吹したのであります。

#### 國民思想の中心たる靈

要するに日本精神と申しますのは、日本國民思想の中心である魂たましひ即ち靈を謂ふのでありますから、容易に捕捉し難いものであります。國民

思想の中心たる靈であるといふ以上は、何時の時代の國民の思想の中心たる靈を日本精神と認むべきか、また如何なる階級の人の思想を目標として定むべきかといふことに疑があります。建國以來二千六百年の長い間數千萬の同胞が各時代に連綿として生活して居つたのでありますから、その目標を定むるのは困難である。況んや我が祖先は、惟神の道について、その理論を吾々子孫に残して居なかつたのであります。我が祖先は言擧ことあげをせざる國民でありまして、理論を精密に説いて居りませぬ。これに反して支那は古くから「先王の道」と稱して、天の命を本と致しまして孔子が儒教を説き出しまして、堯、舜、禹、湯、文、武、周公といふやうな人々を儒教のモデルにして崇拜して、その理論は四書、

五經等に現はれて居りますが、なか／＼理路整然として文學上にもまた宗教としても價值のあるものとなつて居るのであります。然るに我が祖先は言舉ことあげしませぬから理論を子孫に遺して居ない。古事記、日本書紀、古語拾遺、風土記などを見ましても、支那の儒教に匹敵すべきやうなものはないのであります。然しながら、我が祖先は理論は遺してくれませぬが、不言實行で、祖先自ら實踐窮行致しまして、吾々子孫に日本人として守るべき道を示してくれたのであります。それでありますから日本精神といふのは吾々祖先の行ひました歴史上の行動をずつと調べて行くと、かういふものだといふことが分つて來るのであります。

#### 日本人のみの爲し來つたこと

それはどういふことであるかといふと、いろいろな事實があつて枚舉に遑なき程であります。他の外國の民族が爲し得なかつたこと、日本人のみが古來爲し來つたことをずつと舉げて見ますと、こゝにはじめて日本精神といふものはかういふものであるといふことが分つて來るのであります。

我が國の歴史をいろ／＼調べて見ますと、外國の民族が出來なかつたことと日本民族のみが爲し來つたことは數限りもなくあります。その主なるものを私はこゝに五つ舉げてお話をしようと思ふのであります。

#### 五つのこと

第一は、神代より、天照大神の御授けになつた、御鏡を齋いっきまつつて、そ

れが伊勢の皇大神宮となつて居るのであります。その皇大神宮を奉祀して居ることでもあります。

第二は、我が國民は萬世一系の皇室を奉戴致しまして、天壤とともに窮まりなき金甌無缺の國體を維持し來つたことでもあります。

第三は、三種の神器が神代より今日まで儼然として我國に存在して居ることでもあります。

第四は、日本人は建國以來二千六百年間外國より征服せられたことがない武勇の國民であります。

第五は、神代より祖先を崇拜する教を奉じて居りまして、曾て外國の思想に征服されたことがないのであります。外來思想に克服せられない

反て固有の我國の傳統精神を以て外來思想を克服してゐる。かういふことが擧げられ得るのであります。

この五つのことは何處の國の歴史を調べて見ても他の民族には曾てないことでもあります。

## 二 伊勢 神宮

### 絶對無限の尊敬

第一のことより少しく説明を申し上げますれば、伊勢の皇大神宮を奉祀して居るといふこと——遠き神代より有史時代二千六百年間に互りからいふことは他の民族には到底出來ないことである。天照大神が天孫瓊々



杵尊に御授けになつた御鏡が神武天皇に御授けになり、それが代々御續きになつて、宮中に齋きまつり、崇神天皇の時より、大和の笠縫に御移りになり、垂仁天皇の時に伊勢の五十鈴川のほとりの御宮に御祀りになつたのでありますが、それ以後亂世時代兵亂が続いた時がありました。も、伊勢の神宮に對し奉りて不敬の行爲をした者はないのであります。北畠氏が國守の時代に、伊勢はしばしば兵亂がありましたけれども、武士は伊勢の神宮に對しては、決して尊嚴を冒瀆するやうなことをしなかつた。これは別に書物などにやかましく書いて居る譯ではありませぬが、この事實に依り、日本國民の信念は、伊勢の大神宮に對しては絶対無限の尊敬の意を持つて居つたといふことが分るのであります。御承知の

通り昔は日本國民は、一生に一度は伊勢參りをしなければならぬといふ信念の下に、交通不便であるにも拘らず、馬に乗り駕籠に乗り、或は徒歩で伊勢參拜をして居るのであります。

#### 言葉に表はし得ぬ心

伊勢の參拜をすることについて國民がどういふ信念を持つて居つたかといふことは、言舉ことあげしない祖先でありますから何も説明して居りませぬが、代表的の國民の感想を述べたものとしては西行法師の歌であります。西行法師は伊勢の皇大神宮を參拜致しまして「何事のおはしますかは知らねども忝かたじけなさに涙こぼるる」と詠んで居ります。「何事のおはしますかは知らねども」といふことは千萬無量の感想を述べて居るのであります

す。理窟を言ふことでない。理論的に何と言つたところが、言葉では伊勢の大神宮に對する尊敬の意を表することは出来ないのでありますからあの多情多感な歌人もこれ以上に言ふことは出来なかつたものと見えます。「何事のおはしますかは知らねども忝さに涙こぼるる」——これは我が國民の持つ感想であります。日本國民全體の思想を現はして居るものと思ふのであります。

### 三 萬世一系の皇室

#### 吾等が祖先の忠實勇武

第二の、萬世一系の皇室を戴いて、天壤とともに窮まりなき金甌無缺

の國體を維持して居るといふことは、これは何と申しても吾々の祖先が皇室に對して忠實にして且つ勇武であつたといふことに歸するのであります。これは世界に誇るべきものであります。他の國は、イギリスでもその他の國でも到底比較にならないことになつて居ります。このことは、明治天皇の憲法發布の御勅語にも「我カ神聖ナル祖宗ノ威徳ト竝ニ臣民ノ忠實勇武ニシテ國ヲ愛シ公ニ殉ヒ以テ此ノ光輝アル國史ノ成跡ヲ貽シタルナリ」と仰せられて居るのであります。これは別に詳しく申上げる必要もないことであります。御承知の通りであります。かういふことは到底他の國の民族の歴史に見ることの出来ないことであります。

#### 義は君臣にして情は父子

そのみならず我が國體は、恐れながら天皇を君父と仰ぎ奉つて居るのでありまして、天皇は大家長であらせられ、且つ父であらせられるといふやうな意味に國が出来て居るのであります。皇室と臣民との關係は「義は即ち君臣にして情は尙ほ父子の如し」といふことを近頃申して居ります。これが公おほやけに知れ渡りましたのは、大正天皇の御即位式の時の御勅語の中にこの御言葉がありました。世人は我國の君臣の關係が義は即ち君臣にして情は尙ほ父子の如しといふことを今更の如く知つたのであります。この言葉は雄略天皇の詔みことのりの中にあるのでありまして、昔から我國は義は君臣にして情は父子の如しといふ國體であります。天皇と國とが同一體をなすのでありまして、皇運と國運とは利害休戚を同じうす

るのであります。従て忠君と愛國とは我國では同一義になるのであります。これが君民一家、君國一體といふこの我が特殊の國體の出で来る所以であります。

かういふ關係でありまして、これを外國の國體と較べて見ますと、外國で謂ふ國家といふのは人民と對立的になつて居ります。フランスのデユギーといふ學者がこのことを説明して居りまして「ヨーロッパの法學者は失策をやつた、十九世紀の法學が國家といふものを人民と對立せしめて相争はしめたのは誤謬である」と言つて居る。人民の方からは民權を主張し、國家の方では君權を主張するといふことになつた。フランスのルイ十四世が「朕は國家なり」と言つた。これは人民に對抗して國と

いふものが最大無限の権力を持つて居るものゝやうに思つたからかういふ言葉が出たのであります。西洋の國家と日本の國家とはまるで成立ちが違ひ、歴史が違つて居るのであります。

#### 四 三種の神器

##### 神代より儼然として

第三は三種の神器のことではありますが、これは申上げるまでもなく既に御承知の通りで、この三種の神器が日本に儼然として存在して居つたといふことは、我が祖先が忠實勇武であつて、皇室に對して忠誠を盡した結果無事に今日まで儼然として存在するといふことになつたとお考下

されば宜しいのであります。

支那の夏、殷、周の時代には「九鼎」といつて九つの鼎かたべを皇帝の寶物にしました。漢の世になつては「傳國璽でんこくのじ」といふものがあります。唐にもありました。ユダヤ人は木の櫃が寶物であつた。ドイツ皇帝は神聖なる寶物として皇帝の冠、或は杖、劔といふやうなものがあつたやうでありますけれども、現在いまはさういふものは存在しない。どの民族も國の寶といふ物を永久に持つて居るものはないのであります。

三種の神器は御承知の通り今日は御即位の條件になつて居りまして、皇室典範に依りますと、天皇の御踐祚の時は劔璽の渡御がある、劔璽が御即位のしるしになつて居る譯であります。

## 五 外國人に征服せられたる事なきこと

## 興亡つねなき各國

第四は外國人に征服せられたことのないといふことでありますが、これも外國と比較すると著しく日本が特殊の國であることが分るのであります。歴史に依りますとイギリスとフランスは互ひに國を取り合つて敗けたり勝つたりして居ることがあります。今日強大を誇るイギリスも、曾て日本の天正文祿年間頃までは殆どスペインの下にあつてその鼻息を窺ふやうな状態であつた。スペインの勢力が非常に盛んで、ポルトガルを従へて東洋邊りまで船を出して貿易を頻りにやる頃はイギリスは弱い國

であつたのであります。それが今日は大きい國になつて居りますが、かういふ各國の盛衰興亡のことを考へると、日本は曾て外國から征服されたことのないといふ大なる誇りを持つて居るのであります。昔神功皇后が三韓を御征伐になつたことは御承知の通りであり、朝鮮の任那に日本府のありましたことも御承知の通りであります。刀伊といふ滿洲邊りの民族が日本へ攻めて來たことがあります。これは日本の歴史に餘り詳しく書いてありませぬが、可なり大きい戦があつたやうで、これを九州に於て撃退してしまつたのであります。

## 蒙古へ逆襲を企てた時宗

御承知の文永、弘安の役、蒙古の日本に來寇したこと、これは非常な

大事件でありまして、成吉思汗がヨーロッパを半分も取つて、ロシアを殆ど取つたといふやうな勢を以て、印度をも征服し、東亞も全部自分の物にしようといふので、その孫の忽必烈が日本に向つて來たのであります。幸に九州地方の武士が勇武であり、四國方面の武士も馳せ加はりこれを防ぎ止めて、暴風の助けもあつたのであります。遂に蒙古の兵を撃退したのであります。この時は單に撃退したのみではない、當時の歴史を調べて見ますと、北條時宗は、蒙古即ち元の大國に對してこちらから逆襲して支那大陸に攻めて行かうといふことまでも計畫したのであります。しかしこれは財政問題で、大船を造ることその他の準備がうまくゆかなかつたので、實行しない中に時宗は死去した爲に、この計畫は

止めになつたのであります。しかしながらその勇氣は實に偉大なものがあります。

#### 「復讐二百年に亘る「倭寇」」

兎に角日本人の強いといふことは、私などの研究した範圍では、近頃よく問題になつてゐる倭寇、この倭寇といふのは、日本の瀬戸内海から九州邊りの武士が支那の沿岸を荒したのであります。天文、永祿時代には上海、南京邊りへ行つて侵略して居ります。僅か千人ばかりの人数で行つて居る。倭寇の支那を荒したのは元の末より約二百年間繼續しましたから支那の明の政府は非常に困つたといふのであります。これだんだん調べて見ると、元が朝鮮と一緒に日本に攻めて來た文永弘安の

役の復讐の意氣に燃えて居つて、初めは南朝の落武者又は浪人が出掛け  
て行つたらしい。八幡大菩薩の旗を船に立て、進んで行つて支那の沿岸  
を攻めた。一種の海賊ではありますが、さういふことをしたところを見  
ても日本人が武勇であるといふことは分るのであります。

#### 勇名を馳せし人々

豊臣秀吉が朝鮮征伐をしたことは御承知の通りであります。その他島  
原城主の板倉豊後守重政などは、自分一人の兵力を以て當時スペイン領  
のマニラを取らうとして偵察隊を派遣したことがあつた。これは徳川幕  
府が正式に許さなかつた爲に、又その中に自分も死んだので實行は出来  
なかつたのでありますが、右の如く昔より日本人は外國に對して武勇の

名を轟かしたのであります。忠勇義烈の國民であつたといふことは歴  
史上に明白であります。

## 六 外來思想の克服

### 包容攝取、惟神の道に輝を添ふ

最後に外來思想に克服せられず、却つて外來思想を克服したといふこ  
と、これも實に不思議なくらゐりに珍らしいのであります。ヨーロッパの  
民族も、日本の民族と同じやうに、ギリシヤ、ローマ、ゲルマン人その他  
の民族は初めは祖先崇拜であつた。ヨーロッパにも中世紀に武士道が盛  
んでありましたが、それなどもやはり祖先崇拜といふことから出たやう

に思はれます。兎に角祖先教といふものはどの民族にもあつた。ところがキリスト教がエルサレムの方から出て來まして、到頭キリスト教の爲に祖先教は克服されて、ドイツ、フランス、イギリス共にその民族に祖先崇拜といふ觀念は衰へたのであります。

然るに我國は、儒教が來、佛教が來、また後に天文より天正の間にキリスト教が來り大いに布教しましたけれども、我が思想はこれらの外來思想に克服せられることはなく、却つて儒教、佛教、キリスト教の良い所を採つて日本の惟神の道は進歩發達したのであります。

## 七 日本精神の概念

### 祖先の遺風

以上の事實を擧げて考へて見ますと、我が祖先は言舉しない國民でありますけれども、支那人の説いた理論以上に實行に依つて幾多の事實を子孫に教へてくれて居るのであります。所謂祖先の遺風なるものを遺してくれたのであります。これは日本の歴史を研究して見るとよく分るのであります。例へば佛教の禪などを採入れて武士道が一層發達したことは御承知の通りであります。さういふ風にして非常に立派に日本精神といふものが出來上つたやうに思はれるのであります。日本精神と申しますのは、日本人全體、どの時代の人を問はず、どの階級の人を問はず、



日本人全體が建國以來誰も實行して來たその日本人の行ひ、即ち右に述べた五つの事實を歸納して行きますと、これが日本精神であるといふことが分つて來るのであります。

#### 要約して言へば

さうすれば日本精神とはどういふものかといふと「日本精神とは萬世一系の皇室を奉戴し、君民一家君國一體の國體より發生する國民精神である」と言ふことが出來ようと思ひます。しかしこれは形式上の概念であります。形式的にはかういふ風に申すことは出來ますが、實質の上から更に説明する必要があるのでありまして、實質上の内容を申し上げますと、日本國民の有する敬神崇祖の堅き信念は日本精神の基本でありま

す。この信念がありますと忠と孝とが一つであるといふ忠孝一本の思想が發生するのであります。忠孝一本の思想から、國を護るといふ武徳を尙ぶところの尙武の氣風が生ずるのであります。しかしこれは以上申上げた敬神崇祖、忠孝一本の心から生ずる武徳でありますから、濫りに武をもてあそばない。從て濫りに戰をしない。武力を用ふるは已むを得ざる時であります。日本人は平和を愛好する心も亦非常に強いのであります。平和を好み、而して武徳を尙ぶ心があるのであります。日本人は已むに已まれずして戰をするのでありますから、その本質は平和を愛好する國民であります。

#### 平和を愛すること最も深し

近頃ヨーロッパ、アメリカなどの人は日本人は好戦國民だといふことを頻りに申して居ります。その評するところを聞くに日本の子供は遊ぶにしても戦争ごつこをして遊ぶ。日本の子供は兜を冠つて昔の武者の眞似などをして居る。爆彈三勇士が出れば、子供が三人で三勇士の眞似をして遊んでゐる。さういふ風でどうも戦が好きだといふ風に申します。けれどもこれは外國と違つて昔から武を尙ぶ國で、義經とか加藤清正の兜などといふものは玩具にもありますから、尙武の國の風俗であります。併しその日本國民は、島原の役後二百五十年間戦をしたことがないといふ事實に依つて見ても平和を愛好することは分る。何處の民族の歴史を調べて見ても近世二百五十年間干戈を動かさなかつた國民は

ありませぬ。その當時支那は、清國になつてゐたのですが、内亂があつて盛んに戦をして居ります。三藩の亂があつて雲南廣東方面が亂れ露國とも衝突し、英國との阿片戦争もあり長髮賊の亂もあつた。ヨーロッパは無論我が徳川の二百五十年間といふものは各國互に戦争ばかりして居る時代であります。然るに二百五十年間の徳川の時代といふものは諸侯は澤山居たけれども戦といふものは一つもない。百姓一揆はありましたけれども、小さい騷擾罪のやうなものである。さうしてこの時代はどういふことをやつて居たかといふと、みな歌を詠み——日本國民は誰でも歌を詠む、下手ながら歌の出來ない人はない——俳諧をやる。日本國民は詩人であります。何處の國にも日本の國民くらゐ平易な詩を詠む國民は

ないのであります。支那は詩人の多い國だといひますが、支那で詩を作り得る人は讀書人の階級だけで、大多數の者は詩の何物たるかを知らない。日本では一般に平民でも歌を詠み發句を作るのであります。又室町時代より殊に盛んになつた活花、茶の湯を樂み自然を愛し自然に親しむ氣持など、つまり平和的生活をする條件を幾つも持つて居ります。それでありますから、ヨーロッパ人が日本人を好戰國民だなどといふことは國民生活の一部分を見ての評で、これは、日本國民は「已むに已まれぬ大和魂」から戰爭をすることになるのを知らないからであります。

## 八 結 語

### 特質は何か

以上申上げましたことに依つて、日本精神といふものゝ概念が御分りだらうと思ひます。この日本精神を持つ日本人には種々の特質がありますから、このことを少しく申上げます。

一、抱擁力 上代に於て日本には種々の異民族が居住しました。例へばアイヌ族であります。これらの民族も天孫民族に服従し、その恩徳に浴したことは御承知の通りであります。アイヌよりも文化の進みたる朝鮮や支那の民族が澤山歸化しました。現に武藏の國には氷川神社が澤山あります。これは出雲系の人が國造に任ぜられて居つた爲めでありまして、従て朝鮮人が多く居つたのであります。又近畿地方には

秦氏の一族、漢氏の一族が、澤山歸化したのでありましたが、我々の祖先はこの澤山の歸化人を抱擁して、そして日本人に同化して仕舞つたのであります。右の如く澤山の歸化人が優秀なる文化を以て來り住んで居りましても、日本精神には何等の影響を及ぼさず、支那人の易性革命の思想も日本人には何等の効力がなかつたのであります。我が國體は儼然として今日まで存在して來たのであります。

二、尙武の氣風 我が國は古來武を尙ぶの國風でありまして、これが國民に忠實勇武の性質を有せしむるに至つたのであります。支那は古來文を尙び武を卑しむ國でありまして、その國民は個人主義、利己主義の念が強いのであります。然るに日本國民は古來滅私奉公の信念を有

し一朝外國と戦をする場合にも、又國內に於て戦をする場合にも、常に家名を重しとし死を輕しとして闘ひますから、勇猛果敢であつて敗けることがない、敗けた時は逃げるを耻辱として名譽を重んじ戦死する者が多いのであります。斯の如き關係に於て、日本國民には武士道といふ立派なる武士の道德が發達した譯であります。

三 其の他の特質 我が國民の性格を一々申述べる時間がありませんから、簡単に申しますと、明朗であり清潔を尊ぶのであります。他の國民のやうに、殊に支那人の如く慘忍なことを致しません。戰場に在ても戰鬥力を有せざる敵に對しては情なげをかけるといふことを致しません。又醇樸なところもあります。

以上日本人は抱擁力があつて、明朗で清潔を尊び、勇武であるが慘忍でなく、醇樸なところがあると思ふのであります。

(終)

## 附 記

講習會の終る頃、會員の一人より日本精神は天皇精神と申しても差支ないと思ふが、どうであるかとの質問があつたから、私は之に對して「近頃天皇中心主義とか皇室中心主義などを唱へる人があるが、これらの人々は皇室と國民とを混同して論じてゐるやうである。天皇精神といふのは長くも御歴代の天皇の大御心を指して申上ぐることで、皇祖皇宗を敬し給ひ民の心を以て大御心と爲し給ふ御仁徳をいふのであるから、國を治め給ふ我が皇室歴聖の御精神といふことになる。日本精神といふのは日本國民の精神を指すのであるから混同せられざらんことを希望す。」と答へたから參考のために附記する。

(小山)

## 財団法人 日本文化中央聯盟設立趣意書

我國文化の現状は建國以來固有の文化を基礎として、克く他國文化を攝取し、生成發展今や燦然たる光輝を放ち其の形態の旺んなること未だ曾て見ざる所である。然るに其内容を省察するに動もすれば綜合一如の精神を忘れ、模倣追隨に急にして創造的進歩性を缺くの傾向あるは洵に遺憾とするところである。

翻つて世界の大事を觀るに西洋文化は極度の發達を遂げたりと雖、之に伴ふ惡弊亦歴然として現れ、思想の對立、階級の鬭争徒らに激化して世相の險惡漸く顯著の度を加ふるに至つた。此の影響は遂に我國にも浸透し來り民心の動搖、社會の不安、眞に寒心に堪えざるものがある。

斯る時弊を匡救するには、深く我國民性の特質を自覺して、其の精髓を發揮し、廣く東西文化の融合を圖りて、新日本文化を建設するの外はない。

時恰も 皇紀二千六百年を迎へんとするに方り、神武御創業の大御心を拜し國運の悠久を思ひ洵に感激措く能はざるところである。連綿二千六百年、光輝ある日本文化を回想し之が再認識を促し、其の眞髓を中外に宣布し以て民族的躍進の契機たらしむると共に、國民的感激を遠く後世國民に傳

へ其の奮起に資するは天業恢弘八紘一字の御理想を翼賛し奉る所以にして、千載一遇の好機に直面せる現代國民の絶大なる歡喜と責務であるといはねばならぬ。

如上の趣旨に基き官民一致の力に依り、茲に財團法人日本文化中央聯盟を設立し、文化に理解ある各方面の人士と協力し、又冷く文化關係機關と連絡提携し、皇紀二千六百年を記念すべき適切な事業を起すと共に必要な各種の施設經營を爲し、以て所期の目的を達成すべく盡力せんとするものである。

全國民の共鳴支援を切望して已まなむ。

## 寄 附 行 爲 (拔萃)

### 目 的

本聯盟ハ聲國ノ理想ニ則リ我國文化ノ綜合進展ヲ圖リ其ノ眞髓ヲ發揮シ之ヲ中外ニ宣揚シ以テ國運ノ伸長並世界文化ノ興隆ニ貢獻スルコトヲ目的トス

### 事 業

本聯盟ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一、新日本諸學ノ建設並促進、其ノ他諸般ノ研究調査ヲ爲スコト
- 二、國民自覺啓發ニ關スル施設並運動ヲ爲スコト
- 三、日本文化史、日本文化百科辭典、其ノ他ノ著作、編纂、翻譯、出版等ヲ爲スコト
- 四、國史記念館、日本文化圖書館、日本民族博物館其ノ他ノ文化施設ヲ爲スコト
- 五、日本文化展覽會ノ開催、其ノ他講演會、座談會、演奏會等ヲ開催スルコト
- 六、日本文化賞ノ設定、其ノ他内外ニ亙リ團體、個人ノ選賞ヲ爲スコト
- 七、常設綜合產業館ノ開設並促進、其ノ他産業振興施設ヲ爲スコト
- 八、海外文化駐在員ノ設置ヲ促進スルコト
- 九、日本文化萬國大會、其ノ他國際會議ヲ開催スルコト
- 十、内外ニ於ケル關係團體、個人ト聯絡協力シ又ハ其ノ事業ヲ援助スルコト
- 十一、其ノ他理事會ニ於テ適當ト認ムル事業ヲ爲スコト



昭和十三年六月六日印刷  
昭和十三年六月十日發行

定價金拾錢  
〔送料共〕  
(切手代用二割増)

不許  
複製

編輯人 服部文城  
印刷人 東京市豊島區池袋二丁目九二四  
印刷所 東京市豊島區池袋二丁目九二四  
株式會社 正明舎印刷所

發行所 法人團 日本文化中央聯盟

東京市豊島區池袋二丁目九二四  
電話 銀座座 一八七番  
振替 東京一四二、八三四番



# 加 盟 團 體 及 會 員 募 集

\* 銃後の護りは國民自覺運動から！

加盟團體——理事會の承認を受くること

正會員——會費年額十圓以上を納付すること

特別會員——會費年額五十圓以上を納付すること

但し正會員又は特別會員にして五箇年以上會費を納付するか又は一時に完納した方は當該終身會員に推薦す

會員の特典——

- 一、本聯盟所定の徽章を受く
- 二、本聯盟主催の各講演會講習會に出席自由
- 三、本聯盟の發行する出版物の一種又は數種の配付を受く
- 四、理事會の議決を経て別に定むる特別の待遇を受く

本聯盟の章徴



\* 戦後の務は新日本文化の建設へ！

愛國者の手には必ず一冊

國民自覺運動パンフレット

時局と國民自覺大講演集

〔第一輯〕

眼に視えざる戦線 大倉邦彦、時局に直面して 下村宏、武士道に就て  
小山松吉、銃後の文化戦線 松本學、文化は戦なり 岡部長景、非常時  
局に際して 池田清、大を以て小に事ふるの心 有田八郎、支那事變と  
國民の覺悟 大藏公望 (定價十錢送料共)

〔第二輯〕

支那事變に關する文化的考察…………… 前駐米大使貴族院議員 出淵勝次  
支那事變に關する米國の動向…………… 東京帝國大學經濟學教授 田邊忠男  
支那事變後の經濟工作…………… 元鐵道大臣貴族院議員 井上匡四郎

〔第三輯〕

世界の大勢と支那の將來…………… 元鐵道大臣貴族院議員 井上匡四郎  
(定價五錢送料共)

〔第四輯〕

第三、第四輯の合本…………… 貴族院議員法學博士 山川端夫  
支那を中心として列國の啓發へ…………… 東京帝國大學教授經濟學博士 本位田祥男  
(定價十錢送料共)

〔第五輯〕

戰爭と經濟…………… 東京帝國大學教授經濟學博士 本位田祥男  
(定價十錢送料共)

〔第六輯〕

日本精神…………… 本聯盟理事長 小山松吉  
(定價十錢送料共)

東京市總町區幸二ノ一〇大坂ル内  
財團法人 日本文化中央聯盟  
電話座一七八七 振替東京一四二八三

